

皆さん！こんにちは！

12月に入り、一気に冬到来ですね。

また、早いもので今学期も残すところ、あと僅かとなりました。

冬季休業目前ですが、体調に気を付けながら過ごしてまいりましょう！

11月26日には、生徒一人一人が日頃の学習の成果を発揮する場とした本校の学習発表会も無事に終えることができ、子どもたちの成長を感じることが出来ました。

教職員の皆様、本当にありがとうございました。

また、生徒の皆さんも、素敵な舞台を見せて頂きまして、ありがとうございました♪



さて、PTAでは、11月24日に行われました『近畿特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合協議会 研修会（奈良大会）』へ参加させて頂きましたのでこの場を通じてご報告をさせていただきます。

開催地となりました奈良県奈良市は、季節的に紅葉が色づき情緒溢れる風景で、ちょっとした観光気分になることができ、研修会に来たことを忘れそうな街並みを抜けて会場入りを致しました。



研修会では、開式の挨拶から始まり、本協議会会長である野間様よりご挨拶を頂き、引き続き、本協議会校長会会長の武内校長先生よりご挨拶を頂きました。また、来賓のご挨拶として、奈良県教育委員会事務局学校教育課より中川主幹からの御祝辞と、奈良県高等学校 PTA 協議会会長の堀様からも御祝辞を頂きました後、研修会が開始致しました。



研修会は、二部構成で行われ、まず、初めに行われましたのは、情報交換会と題して、大阪府立高槻支援学校・兵庫県三木市立特別支援学校・奈良県立二階堂養護学校の三校によるそれぞれの PTA 活動についての報告を、スライドを用いてお話を頂きました。



学校規模や地域との繋がりなど、どの学校も特色を活かした PTA の活動をされておられ、また、課題は多々ありながらも上手に運営されており、本校 PTA として、見習うべきことが沢山ありとても勉強になりました。

昼食休憩を挟んで、午後より行われました講演会では、国立大学法人奈良教育大学特別支援教育研究センターで非常勤講師もされ、現在、フリーランスでも活動されておられます作業療法士の宮崎瑠璃子氏による『個性が生き、個性を活かす生活スタイル ～感覚・からだ・運動の視点から～』という演題に添って、学齢期に大切にしたいからだ作りを日常のなかでのことを含めて、様々な状況やこれまでの実践で積み重ねられてこられたことなどを、わかりやすく、また、ユーモアたっぷりにお話を頂きました。普段、難しく捉えがちな話も最後までとても聞きやすく、お話を伺うことが出来ました。

機会があれば、四條畷校にもお越し頂きたいと思った次第でした。本当に為になる講演でした。

宮崎先生、ありがとうございました。



